

希望が丘高等特別支援学校と議員との意見交換会 概要

○参加者 議員：堀江ひとみ議員、山村健志議員 生徒：3年生 4名

○発表テーマ：活気ある長崎県を目指した取組

○意見交換会要旨

（山村健志議員）

非常に良い発表で、すごく勉強してきたことが分かりました。

「新鮮な食べ物で長崎の振興を」ということで、長崎では新鮮な食べ物が普通に採れて、どこにでもあるものだけど、このようなことが長崎県の魅力なんだよね。住んでいると当たり前過ぎて気付けないことを捉えられていてすごく良かった。また、人口流出に歯止めをかけるための大規模イベントの開催について、イベントを単に開催するだけではなく、そこに来てくれた人との交流が含まれると、また来たいと思うので、そういった視点もあるとすごく良くなると思います。皆さんが真剣に考えてくれていて、すごく的を射た内容だったと思います。

（堀江議員）

高校生との交流事業に参加するたびに新鮮な気付きをもらえています。

「誰もが住みよい長崎県」のための最低賃金の引き上げについて、国でも県でも重要な課題となっているので、そこに視点を当てて、ここを改善しないと人口流出に歯止めをかけることができないんじゃないかということを指摘してくれた皆さんの感覚が素晴らしいと思いました。

（山村健志議員）

学校で模擬選挙をしてみてどう思いましたか。

（生徒）

一人一人が意見を持って、それを伝えることが大事なんだと思いました。今日も他の高校の発表を聴いていろんな政策を知れたように、実際の投票の際も、一人一人の意見や考えを知った上で、投票していきたいと思います。

（山村健志議員）

本当に皆さんの一票で世の中が変わると思います。楽しい未来をつくるために投票をするので、選挙を楽しんでもらえればと思います。

（生徒）

議員の皆さんは普段どのようなことをしているんですか。

（山村健志議員）

私の場合は、ほぼ毎日誰かに会いして、いろんなことを聴いています。そこで良くなるためには何が必要なのかについて勉強し、政策につなげるために議員同士や職員等とも話し合いをしながら、皆さんが幸せになれるよう取り組んでいます。

(堀江ひとみ議員)

私も皆さんからお話を聴いています。現場の声を聴いて、自分が議会で意見として述べるためには、勉強しておかなければならないし、探求しなければなりません。今回、ちょうど皆さんがやってきたように、どのような政策が良いのかについてディスカッションして、こういうふうにやろうと取り組んできたと思うけど、議員の活動に通じるものがあると思う。

(生徒)

最近はどのようなことに取り組んでいますか。

(堀江ひとみ議員)

ちょうど昨日、議会の取組の一環として、県立大学生と意見交換をし、政治を身近に感じるにはどうしたらいいかについて話をしたんです。その中で、政治に関心がないという学生いて、生活の中で不具合に感じることは何かないかと聞いたら、いろいろ出てきたの。それらを解決・なくすことが政治なんだよって伝えたら、政治を自分事として捉えることができたという話になったんですよ。政治は遠いところのものではなく、日常生活で「えっ」と思うことを変えていくことが政治なんだよね。

(生徒)

同性婚や LGBTQ など様々な意見があることについてどのように考えています。

(山村健志議員)

いろんな意見があっていいと思います。いずれは皆さん世代が良いと思う意見が大勢を占めると思うので、意見が収束するまで時間をかけてもいいのかなと思う。

(堀江ひとみ議員)

考え方は十人十色であっていいと思うけど、自分はこうしたと思うことができる世の中であるべきだと思うし、自分はこのように生きたいということが自由に発言できる社会を維持していかなければならないと思う。

(山村健志議員)

堀江先生最後に一言お願いします。

(堀江ひとみ議員)

皆さんは生徒会の活動をしていて、今日の発表・意見交換にも参加して、今日のためにいろんなことを調べ・勉強してきたと思います。また、他校の発表も聴くことができた。このような経験をしてきたということで、学校を卒業しても自信を持って過ごしていったほしいなと思います。